

第2期吉富町まち・ひと・しごと創生総合戦略

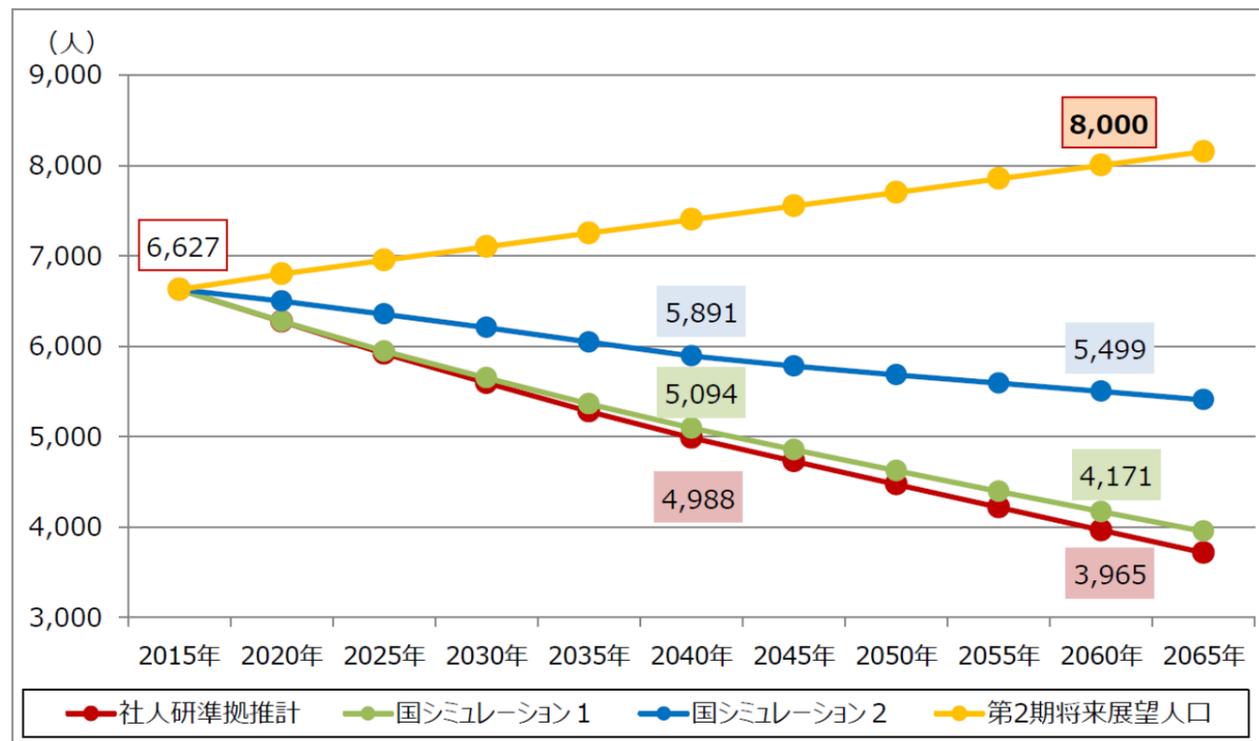
人口ビジョン

本町においては、かねてより、若い世代に対する子育てや子どもの教育支援に力を注ぐことで“子育てしやすいまち”としての高い評価を得ており、合計特殊出生率の高さや年少人口比率の高さにもその成果が表れています。

この成果を、今後さらに本町のアピールポイントとしてさらに強化することで、合計特殊出生率の高水準(2.3)を達成・維持するとともに、中長期的に他市町村からの若い世代の流入を誘導し、「移り住み」の定着による社会増が進むとして、長期的に人口約8,000人を目標

【第2期将来展望人口】 2060年 8,000人

【第2期将来展望人口の推移(社人研*推計人口及び人口推計シミュレーションとの比較)】



	出生に関する仮定	移動に関する仮定
社人研準拠推計	2015年国勢調査に基づいた、国立社会保障・人口問題研究所による令和元年6月時点の人口推計値	
国シミュレーション1	2030年までに出生率2.1に上昇する仮定	社人研の仮定と同様
国シミュレーション2	2030年までに出生率2.1に上昇する仮定	現在の移動率がゼロ(均衡)で推移すると仮定
第2期将来展望人口	2025年までに出生率2.0、2040年に2.3に上昇する仮定	現在の移動率がゼロ(均衡)で推移し、毎年50名の増加(0~5歳、25~44歳の男女5歳階層が毎年5名増加)

* 社人研：国立社会保障・人口問題研究所の略。国の人口に関する研究機関として、日本の将来推計人口を調査し、公表しています。

吉富町まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行年月：令和2年3月 編集・発行：福岡県 吉富町



令和2年3月 吉富町

基本目標1 新しいひとの流れの創出

～町外者との“つながりづくり”から“移り住む”流れをつくる

若い世代を中心とした転出超過を防ぐとともに町への新たな転入者の増加をめざし、効果的なプロモーションによりまちの魅力を広めると同時に、観光と連動した交流人口の増加、町出身者を中心とした町外との関係人口の拡大など、多面的な施策展開により、町内外の人が吉富町を「知る」「つながる」機会を広げます。

そして、交流人口や関係人口を拡大することで、吉富町への移住のきっかけをつくり、移住・定住誘導のための各種事業や環境整備等により、移住の流れを促進させ、町への人口定着を図ります。

主な施策

- (1) まちの魅力を伝えるプロモーションの強化
 - 移住・定住情報発信ウェブサイトの構築・運営
 - 地元企業のネットワークを活用した PR
 - 若者世代・子育て世代への訴求力のある PR 活動の実施
- (2) 観光プログラム開発による交流人口の拡大
 - 山国川「リバーサイド」交流プロジェクト
 - JR吉富駅前を中心とした「交流マルシェ」の開催
- (3) 町外者とのつながりづくり(関係人口の創出)
 - 町外者の絆づくりの推進
 - 地域おこし協力隊の導入
- (4) 移住・定住の促進
 - マイホーム取得補助の推進
 - 新婚世帯家賃補助の推進
 - 町有地の宅地分譲推進
 - 空家・空地バンク利用促進
 - 民間事業者とのタイアップによる空家活用支援

基本目標2 継続した子育て全力応援のまちづくり

～生まれた子どもが独り立ちするまでの支援環境をつくる

吉富町は子育て環境の整備に積極的に取り組んできており、高い合計特殊出生率を維持してきました。今後も子育て全力応援のまちとして、子どもが社会人として自立するまでの継続した子育て支援を充実するとともに、地域住民との協働による地域の教育の推進、地域の居場所づくりを広げます。

また、女性が活躍できる機会を推進するとともに、「ワーク・ライフ・バランス」等を重視した男女共同参画の環境づくりを進めます。

主な施策

- (1) 継続した子育て支援の充実
 - 継続した子育て支援の充実
 - 子育て情報のウェブサイトを活用した情報発信の強化
 - ワーク・ライフ・バランスの推進
 - 子育て世帯の負担軽減
- (2) 地域ぐるみでの教育の推進
 - 地域とともにある学校づくりの推進
 - 地域ぐるみでの教育の推進
 - 英会話ふれあい事業の推進
- (3) 地域における子どもの居場所づくり
 - 放課後の居場所の整備
 - 放課後見守り体制の強化

基本目標3 安定したしごとづくり

～地域の資源と人々の創意工夫によって、吉富町ならではの仕事をつくる

農水産物等の地域資源を活かした特産品の開発・販売により、町の魅力を発信し、就農や商品開発に関わりたい人材を誘致・育成するとともに、起業・創業及び事業者の誘致による新たなしごとづくりを推進し、安定した雇用環境の創出をめざします。また、幼少期から「しごと」への理解を深める取り組みを進め、将来の町を担う人材の育成を進めます。

主な施策

- (1) ブランド商品の開発・新たな雇用の創出
 - 吉富ブランドとなる特産品・農産物開発、生産、販売
 - 新規就農者の育成・支援
 - JR吉富駅前を中心とした「交流マルシェ」の開催【再掲】
 - 観光、物産ウェブサイトを活用した情報発信【再掲】
- (2) 創業支援と異業種交流の場づくり
 - チャレンジショップの出店促進・運営
 - 空き倉庫等を活用した創業支援
 - 創業促進助成事業の実施
 - 経営塾の実施等による創業機会の創出
- (3) 地場産業のイノベーション支援と企業誘致の推進
 - 地場産業のイノベーション支援
 - 事業者誘致の推進
 - 地元中小企業の経営基盤強化、事業承継支援
- (4) 子どもの職場体験を通じた次世代につなぐ人材づくり
 - 小中学生による町内事業所の職場体験の実施
 - 子どもマルシェの開催

基本目標4 暮らし続けることのできるまちづくり

～多様な主体の連携による持続可能な「健康・安心」社会をつくる

町民の誰もが暮らし続けることのできる「健康・安心」社会をめざし、町民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、公共交通や幹線道路の社会基盤の維持・向上を図ります。また、官民連携による安全・安心な住み良いまちづくりを推進し、町への愛着を強め、町への定着を図ります。

主な施策

- (1) 町民の健康づくり・生きがいづくり
 - 健康づくりの推進
 - シビックプライドの醸成
 - 地域の将来を支える人材の育成
 - 高齢者や障がい者、外国人など誰もが活躍できる社会の実現
- (2) 安全・安心の暮らしを支える基盤づくり
 - 公共交通サービスの充実
 - 道路の安全対策の実施
 - 公民連携による安全・安心なまちづくり